

一般社団法人 滋賀県障害者スポーツ協会令和4年度事業報告

令和4年度は、栃木県において4年ぶりとなる第22回全国障害者スポーツ大会 いちご一会とちぎ大会が開催され、滋賀県からも初めて開催されたボッチャ、近畿予選を勝ち抜いて出場したソフトボールとグラウンドソフトボールの団体競技2競技を含め9競技に55人の選手が出場し、ソフトボールの3位入賞をはじめ、各選手が力一杯、その実力を発揮しました。

また、県大会をはじめとする当協会の主催事業は、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する時期もありましたが、必要な感染防止対策を講じながら、予定どおりに開催することができました。

また、2025年わたSHIGA輝く障スポに向け、国スポと合わせて、中央団体において開催が正式決定され、県の開催準備委員会が実行委員会に改組されるとともに、滋賀ダイハツアリーナが開業するなど、その準備が本格化しています。当協会においても、わたSHIGA輝く障スポを見据え、滋賀大会強化指定選手を新たに指定し、強化活動を開始するなどの準備を進めました。

協会の法人運営については、組織力の向上を目指し、理事を増員するとともに、社員会員も増加しました。

【一般会計】

1 社員総会、理事会等の開催

(1) 社員総会

日 程	主な審議事項等
令和4年6月16日(木)	(1) 令和3年度事業報告(案)について (2) 令和3年度決算(案)について (3) 理事の選任(案)について
令和4年7月25日(月) ※書面開催	(1) 理事の選任(案)について

(2) 理事会

日 程	主な審議事項等
第1回 令和4年6月16日(木)	[審議事項] (1) 令和4年度定時総会に付すべき事項について ① 令和3年度事業報告(案)について ② 令和3年度決算(案)について ③ 理事の選任(案)について [協議事項] (1) 令和5年度滋賀県予算編成に向けた要望(案)について [報告事項] (1) 代表理事および業務執行理事の職務執行状況について

第2回 令和4年6月16日(木)	<p>[審議事項]</p> <p>(1) 専務理事(業務執行理事)の選任について</p>
第3回 令和5年3月22日(水)	<p>[審議事項]</p> <p>(1) 令和4年度補正予算(案)について</p> <p>(2) 令和5年度事業計画(案)について</p> <p>(3) 令和5年度当初予算(案)について</p> <p>(4) 副会長の選任(案)について</p> <p>(5) 諸規程の改正について</p> <p>(6) 令和5年度一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会 会長表彰の被表彰者の決定について</p> <p>[協議事項]</p> <p>(1) 令和5年度の強化費の執行について</p> <p>[報告事項]</p> <p>(1) 代表理事および業務執行理事の職務執行状況について</p>

(3) 運営会議

日 程	主な審議事項等
第1回 令和4年6月7日(火)	<p>(1) 6月16日の理事会の予定案件について</p> <p>① 令和3年度事業報告(案)について</p> <p>② 令和3年度決算(案)について</p> <p>③ 理事の選任(案)について</p> <p>(2) 令和5年度滋賀県予算編成に向けた要望について</p> <p>(3) 代表理事および業務執行理事の職務執行状況について</p> <p>(4) 社員会員の承認について</p>
第2回 令和5年2月13日(月)	<p>(1) 3月22日の理事会の予定案件について</p> <p>① 令和4年度補正予算(案)について</p> <p>② 令和5年度事業計画(案)について</p> <p>③ 令和5年度当初予算(案)について</p> <p>④ 副会長の選任(案)について</p> <p>⑤ 諸規程の改正について</p> <p>⑥ 代表理事および業務執行理事の職務執行状況について</p> <p>(2) その他</p>

(4) 強化委員会

日 程	主な審議事項等
第1回 令和4年12月14日(水)	(1) 報告事項 ・第22回全国大会 成績・結果について ・特別全国大会(鹿児島) 候補選手・育成選手 について (2) 協議内容 ・令和4年度 団体競技強化費について ・令和5年度の強化事業について ・今後の強化事業の実施方法等について
第2回 令和5年3月25日(土)	(1) 特別全国障害者スポーツ大会(鹿児島大会)及び同大会近畿予選ブロック出場選手の決定について (2) 令和5年度の強化費の執行方法について (3) 令和6年度以降の個人競技強化方法について

(5) 専門委員会

日 程	主な審議事項等
第1回 令和4年4月23日(土)	(1) 専門委員長・副委員長について (2) 各競技専門部の部長・副部長について (3) 各競技の強化体制および強化選手について (4) 大会関係の日程について
第2回 令和4年12月17日(土)	(1) 滋賀県競技力向上対策本部の取り組みについて (2) 特別全国障害者スポーツ大会候補選手・滋賀大会強化指定選手の内定について (3) 令和5年度の競技別練習会について (4) 第61回滋賀県障害者スポーツ大会について (5) その他
第3回 令和5年3月25日(土) ※部長会	(1) 特別全国障害者スポーツ大会(鹿児島大会)および同大会近畿予選ブロック出場選手について ① 個人競技出場選手推薦および役員・介助者について ② 団体競技出場選手推薦および役員・介助者について (2) 令和5年度の強化費について (3) 令和5年度事業について ① 令和5年度 合同練習会・県大会について ② 令和5年度 競技別練習会について ③ チャレンジスポーツ教室について (4) 次回の専門委員会(総会)について (5) その他

(6) 表彰選考委員会

日 程	主な審議事項等
第1回 令和5年2月13日(月)	(1) 令和5年度会長表彰に係る被表彰候補者の選考について

2 第60回滋賀県障害者スポーツ大会の開催

引き続き新型コロナウイルス感染症は感染拡大が続きましたが、政府のガイドライン等に基づき必要な感染防止対策を実施しながら大会を実施し、すべての大会を実施することができました。

競技名	スポーツフェスタの部		全国大会選考会の部	
	日程・場所	参加申込者数	日程・場所	参加申込者数
卓球	8月21日(日) 野洲市総合体育館	46人 (R3 50人)	11月20日(日) 甲賀市水口体育館	101人 (R3 89人)
陸上	6月19日(日) 水口スポーツの森	49人 (57人)	9月17日(土) 皇子山陸上競技場	110人 (116人)
フライング ディスク	7月2日(土) 長浜バイオ大学ドーム	56人 (67人)	10月9日(日) 水口スポーツの森	71人 (64人)
ボッチャ	7月23日(土) YMITアリーナ	59人 (45人)	9月3日(土) 甲賀市水口体育館	14人 (14人)
水泳			10月2日(日) 県障害者福祉センター	35人 (38人)
アーチェリー			10月2日(日) 県障害者福祉センター	12人 (12人)
ボウリング			10月15日(土) ラピュタボウル彦根	34人 (40人)
バスケット ボール			11月13日(日) 守山市民体育館	87人 (54人)
バレーボール			11月19日(土) 県障害者福祉センター	(試合なし) (19人)
サッカー			11月13日(日) 野洲川歴史公園サッカー場	34人 (38人)
ソフトボール			11月13日(日) 守山市民運動公園	106人 (111人)
合 計		210人 (219人)		604人 (595人)

3 全国大会出場選手強化練習会等の開催

(1) 個人競技

第22回全国大会出場選手・育成選手合同記録会（練習会）

日程等	会場等
第1回／令和4年4月30日（土）	水口スポーツの森ほか
第2回／令和4年5月28日（土）、29日（日）※合宿	皇子山陸上競技場ほか

特別全国大会出場選手・滋賀大会強化指定選手合同記録会（練習会）、選手選考記録会

日程等	会場等
第1回／令和5年1月22日（土）、30日（日）	皇子山陸上競技場ほか
第2回／令和5年2月18日（土）、19日（日）、25日（土）、26日（日）	皇子山陸上競技場ほか
第3回／令和5年3月18日（土）、19日（日）	皇子山陸上競技場ほか

(2) 団体競技

全国大会への出場を目指す団体競技は、各チームが独自に開催する練習会・交流試合等に対し補助を行い、競技力の強化を図りました（通年実施）。

- ・身体障害者：車椅子バスケットボール、グランドソフトボール
- ・聴覚障害者：男子バレーボール、女子バレーボール
- ・知的障害者：サッカー、ソフトボール、男子バスケットボール、女子バスケットボール

4 第22回全国大会近畿予選会の開催

知的障害バレーボール近畿予選会を実施し、男女とも和歌山県が優勝し、全国大会出場が決定しました。

日 時 6月12日（日）

会 場 ウカルちゃんアリーナ

参加チーム 男子 滋賀県、兵庫県、和歌山県（優勝）

女子 滋賀県（棄権）、兵庫県、和歌山県（優勝）

5 第22回全国障害者スポーツ大会への選手団派遣

第22回全国障害者スポーツ大会 いちご一会とちぎ大会は、令和4年10月29日から31日までの3日間開催され、滋賀県チームは、近畿予選を勝ち抜いたソフトボール、グランドソフトボール、初めての開催となったボッチャを含め、9競技55人の選手が出場しました。

大会においては、事前のPCR検査、期間中の抗原検査をはじめとする新型コロナウイルス感染症の感染対策を実施しながら、各選手が素晴らしいパフォーマンスを発揮しました。

(1) 国スポ・障スポ滋賀県選手団結団壮行式

9月21日（水）にピアザ淡海において、第77回国民体育大会・第22回全国障害者スポーツ大会の滋賀県選手団結団壮行式が実施されました。

(2) 日程説明会

10月22日（土） 県障害者福祉センター

(3) 選手団派遣

10月29日～10月31日 いちご一会とちぎ大会（第22回全国障害者スポーツ大会）

選手団 選手55人、役員44人 合計99人

成績 個人競技 金 18個、銀 10個、銅 7個

団体競技 ソフトボール 2勝1敗 全国3位

グランドソフトボール 2敗

6 スペシャルスポーツの広場の開催

障害者が身近なところで気軽にスポーツに親しめる機会づくりのため、昨年度より会場を増やし、5会場でスペシャルスポーツの広場事業を実施しました。

また、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で中止した会場もありましたが、すべての会場で実施することができ、各会場での参加者も大幅に増加しました。

・対象者：県内在住の障害者およびその付添人等

・メニュー：フライングディスク、ボッチャ、卓球・卓球バレー、レクリエーションスポーツ等

地域	会場	実施日	参加人数		
			参加者	スタッフ	合計
湖南地域	栗東市民体育館	9月24日	55人	39人	94人
		1月14日	73人	27人	100人
		3月4日	59人	22人	81人
東近江地域	布引体育館	5月21日	79人	38人	117人
		12月3日	58人	46人	104人
		3月11日	77人	34人	111人
湖北地域	長浜伊香ツイ ンアリーナ	7月9日	31人	42人	73人
		8月6日	21人	36人	57人
		9月10日	36人	39人	75人
高島地域	新旭体育館、	5月14日	41人	34人	75人
	安曇川体育館	6月4日	58人	32人	90人
	新旭体育館	11月5日	40人	36人	76人
合計			628人 (R3 299人)	425人 (R3 329人)	1,053人 (R3 628人)

7 障害者スポーツコーディネーター設置事業

障害者スポーツコーディネーターが、障害者支援機関等を訪問し、障害者のスポーツに関するニーズの把握や協会事業の情報提供を行い、障害者スポーツのすそ野拡大や県大会への参加者誘引、「2025わたSHIGA輝く障スポ」に向けた機運醸成等を図りました。

（コーディネーター訪問等活動状況 年間延べ11か所）

訪 問 先 等 (含む WEB 訪問等)
おおつ働き・暮らし応援センター Hatch (はっち)
湖南地域働き・暮らし応援センター りらく
コトー支援センター
甲賀地域働き・暮らし応援センター
はたらき・くらし応援センター こほく
総合型地域スポーツクラブ ぽぽんた倶楽部
長浜米原しょうがい者自立支援協議会

8 顕彰事業

(1) 令和4年度一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会会長表彰

令和4年9月17日(土) 皇子山陸上競技場において表彰の授与を行いました。

功 勞 賞 川瀬由紀子氏(日野町)、西尾英伺氏(湖南市)、田中 弘氏(東近江市)

優秀指導者賞 田淵千恵子氏(大津市)、川並正幸氏(彦根市)

パラリンピック特別賞 坂下和子氏(甲賀市)、宮路裕美子氏(湖南市)

(2) 令和5年度一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会会長表彰の選考

令和5年2月13日(月)に表彰選考委員会を開催し、令和5年度の被表彰候補者の選考を行いました。

9 交流大会の開催

障害の有無に関わらず、ボウリング競技を通じ、交流を深めることで障害理解を図り、共生社会の実現を促進することを目的に、交流大会を開催しました。

日程	場所	申込者数
令和4年8月27日	ラピュタボウル(彦根市)	41人
令和4年12月17日	ラウンドワン(大津市)	55人

10 障害者スポーツ啓発事業

(1) 特別支援学校やパラスポーツパートナーの依頼に応じ、競技用具、展示用写真パネル、障害者スポーツ啓発CD・図書、ルールブック等の貸し出しを行いました。

(2) 会員募集チラシを作製し、会員を募集するとともに、協会のPRに努めました。

(3) 協会ホームページについてスマートフォン対応のための改修を実施するとともに、フェイスブックと合わせて、様々な情報の発信に努め、協会および協会事業のPRを行いました。

ホームページの閲覧数 令和4年4月～令和5年3月 7,981回(対前年度1,117回増)(通算73,599回)

11 賛助会費の受入

協会の自主財源として、協会の趣旨、事業に賛同する民間企業等に働きかけを行い、賛助会員を募集しました。会員となった企業等から収めていただいた会費について、法人運営のほか、国際大会に出場された選手の祝金交付等に活用しました。

令和4年度 賛助会員数 企業・団体 287 団体、個人 17 人 合計 304 団体・個人
賛助会費額 1,802,000 円

12 国際大会祝金

国際大会に出場した障害者アスリートに対し、祝金を交付しました。

令和4年度 交付人数 延べ12人

13 各種助成金等の受入

(1) ダイトロン福祉財団助成金

公益財団法人ダイトロン福祉財団が実施する助成事業から助成金を受け、会用车（トヨタ ハイエース）を購入（更新）しました。

(2) サントリー チャレンジド・スポーツ アスリート奨励金

令和4年度から新たに開始された、サントリーホールディングス^(株)と公益財団法人日本フィランソロピー協会が実施する「サントリー チャレンジド・スポーツ アスリート奨励金」について滋賀県からの候補者を選考するため選考委員会を設置しました。委員会での選考の結果、車椅子卓球の宇野正則さんを候補者として推薦し、宇野さんが奨励金の交付を受けられました。

14 滋賀県に対する要望活動

滋賀県の令和5年度予算編成および一層の障害者スポーツの振興に向け、滋賀県に対する要望を取りまとめ、10月18日に大杉住子滋賀県副知事に対し、要望活動を行いました。

15 会報等の発行

会報 第115号 令和4年12月発行 発行部数 2,700部

第116号 令和5年3月発行 発行部数 2,700部

16 諸会議等への出席

滋賀県や各市、関係団体が主催する諸会議に出席し、障害者スポーツ振興の立場から発言するとともに、情報提供および情報収集を行いました（一部書面会議有）。

○国スポ・障スポ開催準備・実行委員会

○同 各専門委員会（総務企画、広報・県民運動、競技運営、全国障害者スポーツ大会、宿泊・衛生、輸送・交通、式典・会場）、募金・協賛特別委員会

○競技力向上対策本部、同 競技力向上対策委員会、障害者スポーツ専門委員会

○障害者スポーツ推進事業実行委員会

○滋賀県スポーツ推進審議会

- 滋賀県スポーツ協会理事会
- 滋賀県立障害者福祉センター運営協議会
- 滋賀県障害者社会参加推進協議会
- びわ湖マラソン準備・運営委員会
- 滋賀スポーツボランティア協議会
- （公財）滋賀レイクスターズ理事会
- 県民総スポーツの祭典実行委員会総務企画小委員会

【スポーツ振興基金特別会計】

1 障害者スポーツアドバイザー設置事業

障害者スポーツアドバイザー2人を設置し、スペシャルスポーツ広場の企画・運営を行ったほか、特別支援学校（学級）等を訪問。選手発掘に向けた情報提供、相談対応を行いました。

2 生涯スポーツ振興事業

(1) 障害者スポーツクラブ補助事業

① クラブ活動補助

協会にクラブ会員として登録した11クラブに対し、補助金を交付し、活動を支援しました。

（競技クラブ）

- 滋賀友泳会
- 滋賀県チャレンジドアスリートクラブ（陸上競技）
- 滋賀県障がい者卓球連盟
- 滋賀県障がい者ボウリング連盟
- LAKE SHIGAバスケットボールクラブ（車椅子バスケットボール競技）
- トップシャトル滋賀（バドミントン）
- 滋賀県ウエルネススポーツ吹矢協会

（市町クラブ）

- 大津市障害者スポーツ協会
- 守山市障害者スポーツ協会
- 東近江身体厚生会スポーツクラブ

② 強化指定クラブ補助

2025年全国障害者スポーツ大会に向け、選手の発掘・育成に取り組んだクラブに対し、経費の一部を補助しました。

対象2クラブ 4人

③ 競技クラブ設立に係る補助

令和4年度の実績なし

(2) 地区別身体・知的障害者スポーツ大会祝金の交付

- 地区別スポーツ大会 令和4年度は実績なし
- 近畿・全国規模大会 第33回近畿身体障がい者水泳選手権大会に祝金を交付

3 競技スポーツ振興事業

(1) 競技別チャレンジスポーツ教室の開催

「2025 わたSHIGA輝く障スポ」に向け、ジュニア層や中途障害者の選手発掘・育成を図るとともに、指導者の資質向上を図りました。

競技名	開催場所	開催日程／参加者数						
		日程	人数	日程	人数	日程	人数	合計
陸上	皇子山陸上競技場	1/21	4人	2/18	中止			4人
水泳	能登川プール	6/12	4人	7/31	4人	8/28	3人	11人
卓球	安曇川総合体育館ほか	5/14	3人	6/4	4人	11/5	5人	12人
フライング ディスク	皇子山陸上競技場	1/21	3人	2/18	中止			3人
アーチェリー	県立障害者福祉センター	4/23	1人					1人
ボウリング	ラピュタボウル彦根	5/14	1人	7/2	3人	10/1	3人	7人

(2) 選手発掘・すそ野拡大のための学校訪問

令和4年度は、特別支援学級の在籍者数が多い学校を中心に訪問し、2025滋賀大会に向けた選手発掘や障害者スポーツのすそ野拡大を目的とした情報提供、事業のPRを実施しました。また、県高等学校体育連盟の陸上部会と卓球部会を倉谷会長と障害者スポーツアドバイザーが訪問し、県大会・全国大会に参加する選手の発掘について支援を依頼しました。

また、30校に対し電話によりフォローアップを実施するとともに、放課後等デイサービス事業所等11箇所にも働きかけを行いました。

校種	訪問校		訪問による各種事業参加実績等
	R4年度	R3年度	
小学校	20校	11校	学校訪問をきっかけに、チャレンジ教室5人、スペシャルスポーツの広場8人、県大会6人の児童生徒が協会行事に参加しました。
中学校	15校	3校	
特別支援学校	4校	11校	
合計	39校	25校	

(3) 大会遠征費補助

申請のあった4クラブ、4個人に対し、アスリート遠征費補助を実施し、経費の一部を補助しました。

(4) 全国大会視察

いちご一会とちぎ大会視察を行った3競技3人に対し補助を行いました。

4 障害者スポーツ指導者養成事業

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会（現日本パラスポーツ協会）公認の初級指導員養成講習会を開催し、41 人の方が修了されました。

【事業報告の附属明細書】

令和4年度事業報告には、一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書は、事業報告を補足する重要な事項が存在しないので作成していません。